

(株)フクナガエンジニアリングがお送りするビジネス情報誌

F E C NEWS

[フェコニュース]
2011.SPRING vol.37

Renewal



昆虫のいる風景 vol.1 カタツムリと紫陽花

梅雨の風物詩といえば紫陽花とカタツムリ。かつてはよく見かけましたが、近年は全国各地で急速に姿を消しつつあると言います。研究者によると、道路がアスファルトに変わり都市部の乾燥化が進んで、遠くに逃げられずに多くが消えてしまったとのこと。彼らの「家」である自然を少しずつでも取り戻して行きたいものです。

特集はフクナガの旬な商品・サービスをご紹介します。 フクナガの“イトコ”発見



特集

販売からリユースまで引き受けます！
特注品の新バッグ「タグツール」

「まだ使える」を生かすための
商品開発、始まる！

ソフトバッグ事業部では、フレコンバッグの販売や特注品の製作・製造に加え、まだ使える使用済みフレコンバッグを買取して中古品として販売しています。しかし中古品として使えても、「企業情報」が含まれるプリントが本体にあると、情報漏えい防止のために廃棄するしかありません。中川さんは以前からお客様より「使用済みフレコンバッグの廃棄コストは高いので、買取してほしいが、口



ゴがあつてで
きない」とい
う声を頂いて
いて「なんと
かしたい！」
とずっと感じ
ていました。

そこで、リユースを前提とした
使用後に回収しやすいフレコンバ
ッグを開発するチームを立ち上げる
ことになったのです。

キーワードは
「取れにくいけど取りやすい」？

本体自体ではなく、別の生
地にプリントして袋に取り付ける
方針に決めましたが、ゼッケンタ
イプだと製品出荷時に取れやす
いことが判明。「プリントが輸送
時には取れにくく、でもリユース
する際には取れやすい状態」が
必要と感じ、試作を重ね、最終
的に「商品タグ」に目を付けま
した。実は、以前から買取した
使用済みフレコンバッグを再販用
にクリーニングする過程で「商品
タグ」を容易に取り外せていたの

まだ使えるのに
もったいない…



廃棄されるフレコンバッグ。産廃処理コストもバカにならない



中古品に変身するときは
タグを取る→タグツール！

です。このタグ素材にプリントし
て、フレコンバッグに取り付ける
と、「取れにくいけど取れやすい」
に見事到達！「製品出荷用にプ
リント入りフレコンバッグを多く
使い、廃棄コストに悩まれていた
お客様に、ぜひお勧めしたい商品
です。リユースになるので、環境
にも優しいですよ」と宮本さん。
今後は、販売からリユースまでの
トータルサポート体制を推進して
いきます。

インタビューを
受けた人はこの2人



ソフトバッグ事業部
中川 千紘 宮本 かなえ
(ながわ・ちひろ) (みやもと・かなえ)

今回のまとめ

- タグを取れば“使える中古品”に早変わり！
- 廃棄物量と廃棄処理コストを一気に削減。エコロジー&エコノミー！

担当者よりメッセージ

この商品が気になったお客様には、実際にタグを取る感触をお試しできるミニバッグを持って説明に伺います。お客様や出荷先様でぜひご提案させて下さい。



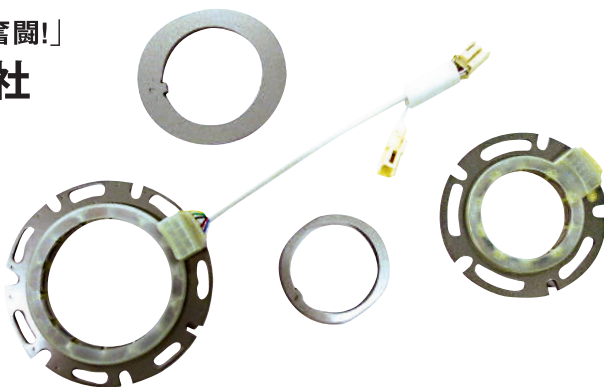
((お客様VOICE 😊)) フクナガの大切なお客様に一問一答。

「被災地で自社の事業からボランティアまで奮闘！」

多摩川モバイル電装株式会社

Q 御社の事業内容を教えてください。

ハイブリッドカー用角度センサ・電動パワーステアリング用角度センサ及びプレス・樹脂成形、並びに多摩川精機株式会社の製品群の組立製造を行っています。



震災ボランティアへの取り組み

弊社の事業所は3月の東日本大震災に遭いました。幸い工場の被害は無かったのですが、近隣の津波被害の状況を知り、ボランティアが必要な場所を尋ねて、床下に堆積した土砂や漂流物を撤去するお手伝いをしました。



Q フクナガ製品・サービス導入の経緯と感想を教えてください。

遠方でも金属スクラップの引き取りが可能ということをお願いしたのがきっかけでした。3月の大震災の時には、引き取りの運送便が動けず、スクラップが貯まり困っていましたが、フクナガさんからフレコンバックを寄付頂き、滞りなく営業することが出来ました。感謝しています。



会社名・多摩川モバイル電装株式会社 住所・青森県三沢市大津2丁目100-1 TEL. 0176-50-7172

((フクナガ NEW TOPICS 🌐)) フクナガの最新ニュース・商品をいち早くお届け!

新ノーパンクタイヤで話題沸騰 『クマカイ』が今夏発売予定!

タイヤ事業部で販売予定の新商品「クマカイ」は、良質な天然ゴムを使って耐摩耗性をアップし、快適な乗り心地になるよう開発しました。詳細は夏号で特集します! 乞うご期待!



このタイヤのトレッドデザインにも秘密が…次号で明らかに!

ココに注目

このタイヤは熱に強く、長寿命を目指して開発されました。その分、タイヤを交換する回数も減り、環境にも優しい商品なんです。



**フクナガの
エコ活!** ♻️

ペットボトルキャップを集めてワクチンにするエコキャップ運動を実施中!

現時点でのポリオワクチン
累計送付数

461人分

これから暑くなってくるとペットボトルの消費量もアップするはず。目指せ1000人分!

フクナガで懸命に働くスタッフをクローズアップ！ フクナガの愉快的仲間たち

“春号”といえば、そう！新入社員紹介です。今年はめでたく4人の社員が入社いたしました。早速、ズズスイッと4人のキャラに迫りたいと思います。



中谷 勇輝 (なかにた・ゆうき)

- 1 “マグロ”です。(じっとしていられないということ)
- 2 趣味はブログ・パーティやカラオケに行くことで、特技は三点倒立！現在のマイブームはお菓子の食べ比べ(特にガムとグミ)にはまっています。
- 3 まだまだ未熟ですが、小さなことから確実にこなしていけるようにしたいと思います。



王 霞 (おう・か)

- 1 明るく、大胆な性格だと思っています。
- 2 新しいものに対して興味があります。最近柔道に興味を持ったので、京都の柔道場に入門し、月2回通っています。
- 3 毎日いろいろな仕事を教えてもらっているのが、充実した日々を過ごしています。自分の業務をいち早く覚え、慣れたいです。



范 学周 (はん・がくしゅう)

- 1 情熱家とよく言われています。
- 2 趣味はカラオケで、大学時代はカラオケ店に36時間いた経験も！特技は太極拳ですが、故郷(中国)でしているのはおじいちゃんばかり…。今は英語を勉強することにはまっています。
- 3 仕事で自分を磨き、成長していきたいと思っているので、よろしくお願いします。



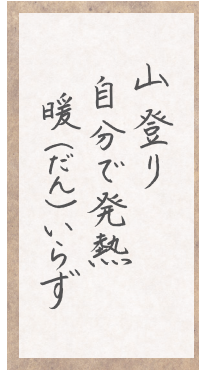
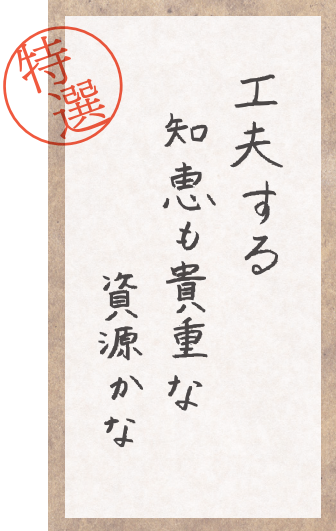
渡邊 花 (わたなべ・あや)

- 1 せっかちですが、マイペースな性格です。
- 2 趣味はバドミントンで、最近では社会人サークルに参加してやっています。マイブームは、韓国の番組を見ることと、読書、クロスステッチです。
- 3 とにかくどんな仕事も一生懸命トライします！がんばりますのでよろしくお願いします。

エコ川柳

エコを詠み、エコで笑う「エコ川柳」。さて、今号の特選は？

今号のテーマ あなたのエコライフ



恒川 紀保さん

(愛知県名古屋市)

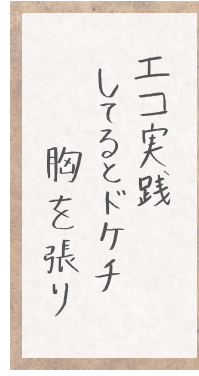
いろんなエコの方法がありますが、考えること自体が大切なことと気づかれます。何かアイデアが浮かんできそうな、納得の特選!



西部 佳代さん

(岐阜県関市)

ヒーターに頼らずとも、自分で「暖」を作り出せること、忘れていました。夏でも冷える山でも、自己発熱で暖かくなりたいですね。



大塚 伸雅さん

(大阪府大阪市)

節約=ケチの時代は終わり、今は「地球のためだから!」と言える時代がやってきましたネ(笑)リズミカルな言葉もより面白く感じます。

次号のテーマは「節電」です。

毎号のテーマにあわせて、あなたの「エコ川柳」をご応募下さい。

ご応募頂いた方にもれなくクオカード500円分をプレゼント!

●宛先…フェコニュース編集部「エコ川柳」係 ●応募要綱…毎号のテーマに合わせた「エコ川柳」を、本誌に同封しているアンケートの記入欄に記入し、FAXまたはメールでお送り下さい。

【応募先FAX】06-6969-3633 【切日】2011年7月8日(金)

編集後記

リニューアル春号はいかがでしたでしょうか?今年度は弊社の変遷時期ととらえ、サイズも装丁も一新し、お客様とフクナガスタッフがより近くなるフェコニュースを目指します。さて、今年度は新入社員4名のうち2名が中国人ということもあり、朝礼でのあいさつ訓練は日本語だけでなく、中国語も加わっています。慣れない中国語にうまくしゃべれないスタッフも多いのですが、中国語に自信のある方はぜひ中国語でスタッフに話かけてみて下さい。朝礼の成果が発揮されるかも!?です。



長谷川 真紀 (はせがわ・まき)

(お詫びと訂正)

FECO NEWS36号の「もっと!フクナガのECO発掘!」コーナーでご紹介しました、ブルタバ・アルミ缶回収の活動を行う企業さまのお名前を誤って掲載しておりました。謹んでお詫び申し上げます。

誤:大一興行株式会社 正:大一興業株式会社



発行元:株式会社フクナガエンジニアリング
〒536-0014

大阪府大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30
TEL.06-6969-3647 (代)

FAX.06-6969-3633

E-mail feconews@ecosoft.co.jp

http://www.ecosoft.co.jp

